

(4) 人材獲得による機微技術獲得戦略

- 中国は海外の優秀な研究者や技術者を招き入れ、軍事転用可能な技術の獲得を狙っています。

【解説】

中国は近年、先進技術を獲得すべく、海外の優秀な研究者／技術者を高待遇で積極的に招き入れています。以下の2つの計画が代表的なものですが、これらの計画には軍事転用可能な分野も含まれており、軍事転用可能な技術の流出という点で要注意です。

◎海外ハイレベル人材招致「千人計画」(海外高層次人材引進計画)¹

本計画は、2008年に開始され、2014年2月現在で招致した海外からの人材は4,180人に上っているとのことです。中国は、これら海外からの人材の活躍で『核技術、有人宇宙飛行、有人潜水艇、北斗衛星ナビゲーション・システム、軍需産業などの分野でネックとなっていた技術的難関を突破させた』としています。

◎外国人専門家(外専)千人計画²

2011年に始まった本計画は、重点業界とコア分野の海外の有能な科学者、技術者を、10年間で500～1,000人受け入れるというもので、政府から一人100万元の補助金に加え、300万元から500万元の研究補助金が支払われることになっています。2014年6月までに情報科学、数理学、環境・地球科学など計242人の外国人専門家が招致され、日本人も多数含まれているようです。